

七、上河鎮附近ヨリ江東門三岔河ノ戰鬪

一、聯隊長ハ第二中隊ヲ其ノ儘トシ主力ヲ後方ニ集結シ第二梯團ヲ

編成内ニ入レ、彈藥ヲ充實スルト共ニ前田少尉ヲ右方進路偵察

ニ高橋中尉ヲ歩兵主力進出路丸井少尉ヲ北トノ連絡ニ出セリ

二、右偵察ノ結果前ニ道ハ敵兵充満シ通過不能ニシテ上河鎮方

面最モ容易ナルヲ知り正午出發スルニ決シ炊事ナサシム

二十一時先ニ隊長ノ許ニ出シタル有働少尉來リ命令ヲ下達

其ノ要旨左ノ如シ

一、北水西門攻撃ヲ取止メ下関ニ向ヒ前進シ敵ノ退路ヲ遮断ス

二、前衛タル北一部ヲ以テ北河ロヲ經テ揚子江右岸地區ヲ下関ニ

前進主力ハ上河鎮ヲ經テ江東門ニ前進

三、北ハ所街ヲ經テ江東門ニ前進

四、北ハ二部ヲ以テ北ニ主力ヲ以テ前衛(北)ノ進路ヲ前進當該部隊ノ

攻撃ニ協力特ニ北門攻撃ノ爲準備スヘシ

一分隊ヲ直シ前衛ニ差出シ北河口ニ進出スル中隊ニ配属スヘシ  
 三、茲ニ於テ高橋中尉ノ指揮スル一分隊ヲ前衛ニ急行セシメ二十時  
 左ノ命令ヲ下達ス

ノ竹下支隊ハ明十三日江東門ノ敵ヲ撃破シ下関方面ニ前進シ敵ノ  
 退路ヲ遮断ス

二聯隊ハ主カヲ以テ左第一線(Ⅲ)ニ一部ヲ以テ右第一線(Ⅳ)ニ直協セン  
 トス

三高橋中尉ハ第三中隊ノ一門ヲ指揮シ直チニ出發シ長ノ指揮ヲ  
 受クヘシ

榴弾 六〇 發煙彈 一〇ヲ屬ス

タ片山中隊(一小隊)ハ所街ニ前進シ直協スヘシ

聯隊本部トノ連絡点ヲ上新川北端ト豫定ス

五爾余ノ諸隊ハ主トシテ此ニ協力スル目的ヲ以テ正子現在地出發  
 本部第三中隊久保山小隊大隊銃列ノ順序ヲ以テ先ツ上新川

21  
 21  
 A1

0363

ニ前進スヘシ

6. 彈藥ノ分配ニ関シテハ聯隊副官ノ指示ヲ受クヘシ  
ク余ハ現在地ニアリ出發後部隊ノ先頭ヲ行進ス

四. 聯隊主力ハ前項命令ノ如ク出發シ、許ニ至リ戰況ヲ聞キ

續行上河鎮ヲ經テ途中幾多ノ障害ヲ排除シツ、十三日六時戰

鬪ヲ交フルコトナク江東門ニ達シ支隊長ト會ス茲ニ於テ

前衛トナリ我片山中隊又之ニ續行シ已ニ北進セルヲ知ル

五. 爾後西ノ後尾ニ續行江東門北端ノ假橋ヲ渡ルヤ軍人刑務所

西端ニ時ナラス銃聲アリ即チ支隊ハ約三千ノ敵ト不規

遭遇セシナリ

直チニ先ツ久保山小隊ニ射撃ヲ命シ次テ岡村中隊ニ射撃ヲ

命ス岡村中隊ハ之ヨリ稍前假橋ヲ渡河セントスルヤ前方及

左側方ニ各百ノ敵現出セルヲ見獨斷之ヲ射撃シタル後進出セリ

久保山小隊岡村中隊刑務所西端ニ於テ戰鬪中

隊長ヨリ

0552

砲一門ヲ以テ刑務所ニ對シテ少兵小隊  
指揮スル一分隊ヲ急派ス  
本戦闘ノ狀況別紙要圖ノ如シ

A1 ~ 23  
23

0365

消費彈藥 二三〇發

戰死兵 一員傷兵 一

敵ハ合計三千ニテ損害千以上ノ見込

六 昨夜來五ニ協力セシメタル片山中隊(一小隊欠)ハ五ニ續行午前五時

頃江東門ヲ通過北進シ十三日九時三岔河附近ニ進出スルヤ千余ノ敵ト

遭遇シ且多數ノ敵兵揚子江ヲ渡河中ナルヲ知リ之ヲ猛射ス其ノ大要

左ノ如シ

一 九時三岔河西端ヲクリクニ渡河シテ逃ル敵兵及舟ニヨリ揚子江上

ニ逃ル者多數アルヲ認め直ニ之ヲ制壓シ相當ノ損害ヲ與ヘタリ交戦

約二十分ニ及ヘリ

二 九時三十分頃ヨリ下関ニ集合中ノ敵及揚子江ヲ渡河スル敵ヲ午後

二時迄射撃シ其ノ渡河ヲ妨害シ敵ニ大ナル損害ヲ脅威ヲ

與ヘタリ

三 午前十時十五分頃ヨリ三岔河西端ノ製粉所

側ノ

家屋ニ約七八百餘避難シタルコトヲ步兵ヨリノ通ズル道直チ  
 ニ陣地ヲ變換シ之ヲ制壓火災ヲ起シ敵ニ大損害ヲ與ハタリ  
 敵ハ大損害ヲ受ケタルモ其ノ一部ハ北方ニ退却セルモノノ如シ  
 尚南京市高地ニハ敵砲兵殘存セルモノノ如シ  
 本日本戰セシ敵ハ最モ勇敢ニシテ我ノ渡河妨害ニ際シテ  
 ハ我ニ機関銃ノ猛射ヲ以テセリ  
 本日ノ戰鬥ニ敵ノ損害約四百ト推察ス我ノ損害亦佐々木  
 准尉以下戰死五戰傷一ヲ出シタリ  
 消費彈藥 一五〇  
 其ノ戰鬥狀況別紙要圖ノ如シ

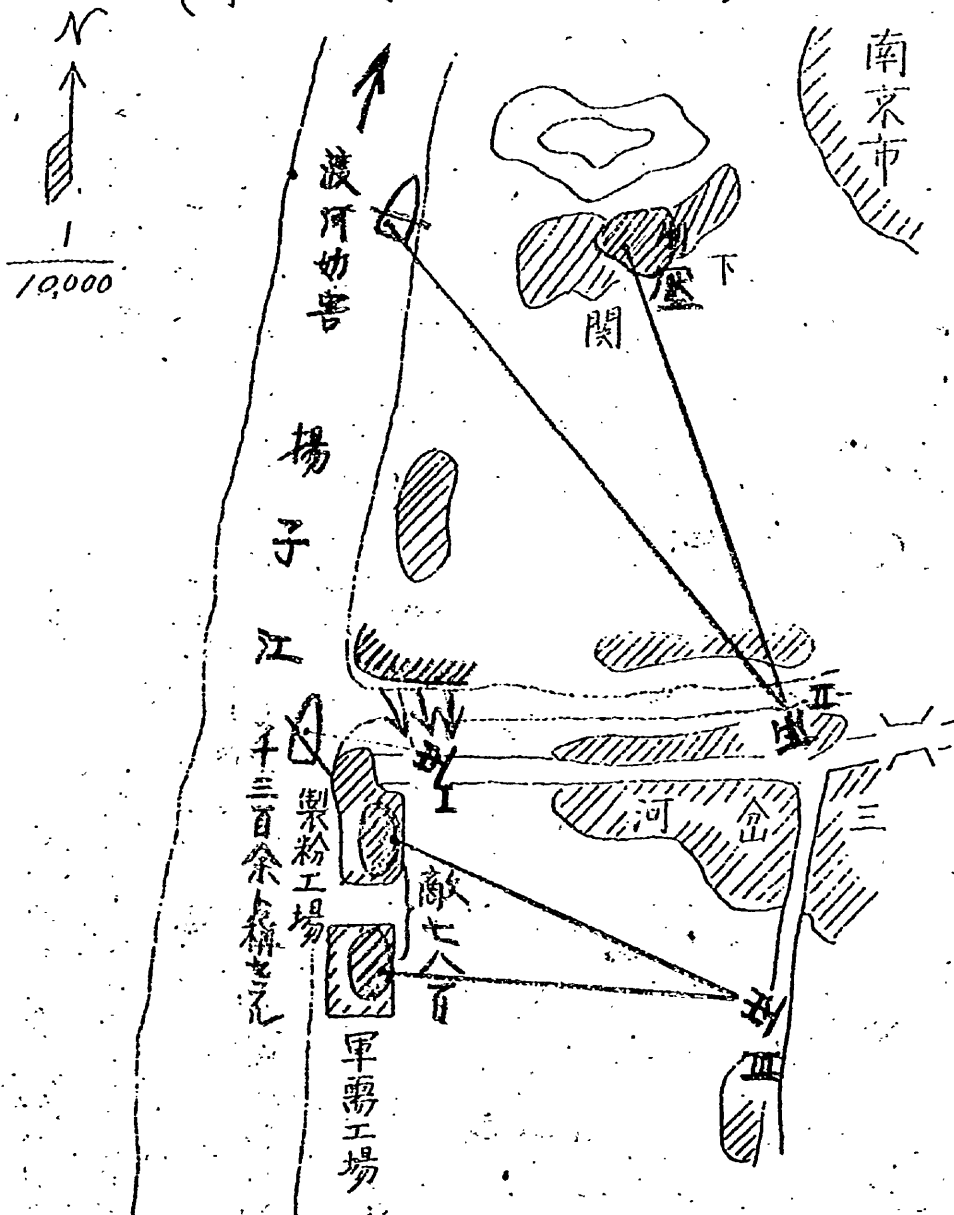
A1

25  
25

0367

0555

圖要過經關戰近附河岔三(次小-)隊中二第  
(時四十五至時九自日三十月二十於)



26

0368

11 ~ 26

七、聯隊ハ十三日十五時頃竹下支隊ノ主カト同行シ三岔河(上保  
廠)ニ達シ十六時三十分迄ノ要旨命令ヲ受ク

如ハ、Iイヲ右第一線トシクリク右IIイヲ左第一線トシ下関方  
向ノ敵ヲ攻撃ス山砲兵聯隊ハ三岔河附近ニ於テ一部  
ヲ以テ右第一線主カヲ以テ左第一線ノ前進ヲ支援スヘシ  
依テ三岔河北端ニ於テ別紙要圖ノ如ク陣地ヲ占領シ夜  
ニ入ル

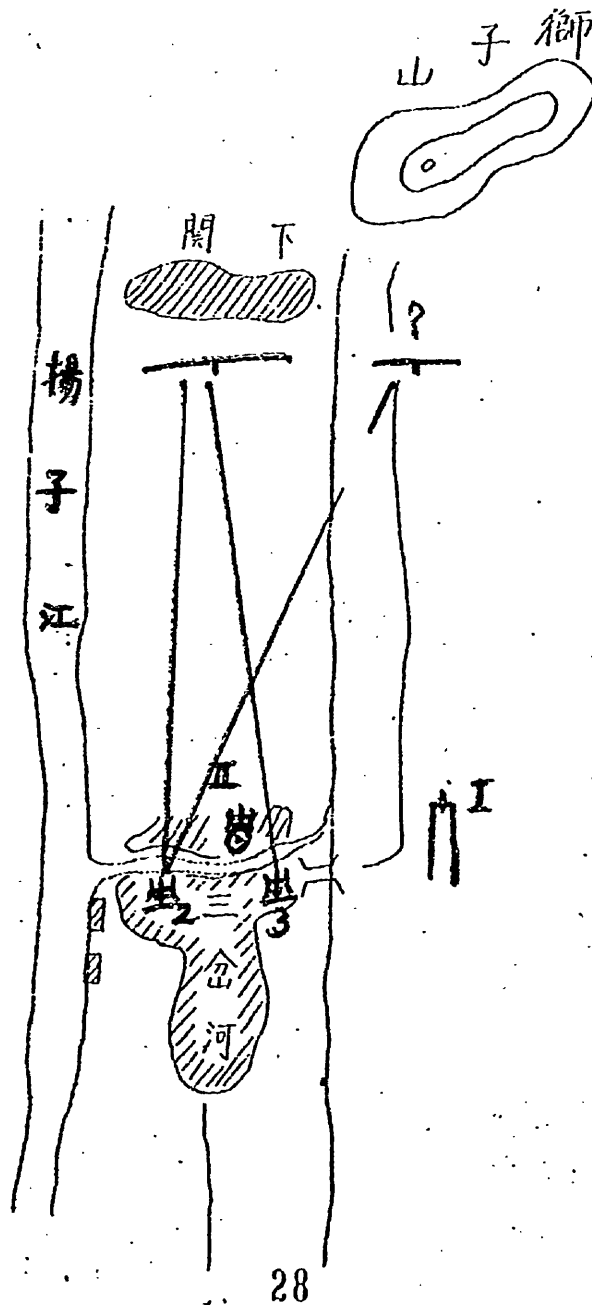
11 ~ 27



2557

三岔河附近戰鬥經過要圖  
(勢態ノ力主兵砲山ルヲ於ニ夕日三十月一十)

↑  
1  
25,000



28

0370

A1 ~ 28

八、廿二月十三日二十三時二十分上保廠ニ於テ左ノ要旨ノ竹下支隊命令ヲ受ク

ノ竹下部隊前面ノ敵ハ我カ力攻ニ依リ其ノ退路ヲ失ヒ逐次投降シツ、アリ

2、竹下支隊ハ右先遣隊ヲ右第一線トシ左第一線トシ明十四日八時迄ニ六保重廠内程巷ノ線ニ攻撃ヲ準備シ下関獅子山ヲ攻略セントス

第一線兩大隊ノ戦闘地境ヲクリアフノ線トス

3、山砲兵聯隊主力ハ午前八時迄ニ六保重廠附近ニ陣地ヲ占領シ主トシテ左第一線大隊ノ戦闘ニ協力シ第一線下関ニ達セハ主トシテ右第一線ノ獅子山攻撃ニ協カスヘシ依テ十四日六時聯隊長ハ中隊長ヲ從ヘ六保重廠ニ至リ陣地ヲ決定シ六時四十分展開命令ヲ下達シ各中隊ハ八時十分陣地占領ヲ終レリ

0350

之ト同時ニ連絡班 左第一線大隊長ノ許ニ出

八時三十分左前方無名部落ニ數 敵兵出入シアルヲ發見

シ第二中隊ヲシテ射撃ヲ命セシモ友軍至近ニアリ且支隊長ノ

意圖ニ基キ射撃ヲ行フコトナク當面ニ觀測所ヲ有スル第二

中隊長ヲシテ歩兵ト連絡シ歩兵ノ一部ヲ以テ武装解除ヲ行ハ

シ

九 九時支隊命令ニ依リ前進敵ノ大ナル抵抗ヲ受クルコトナク十時

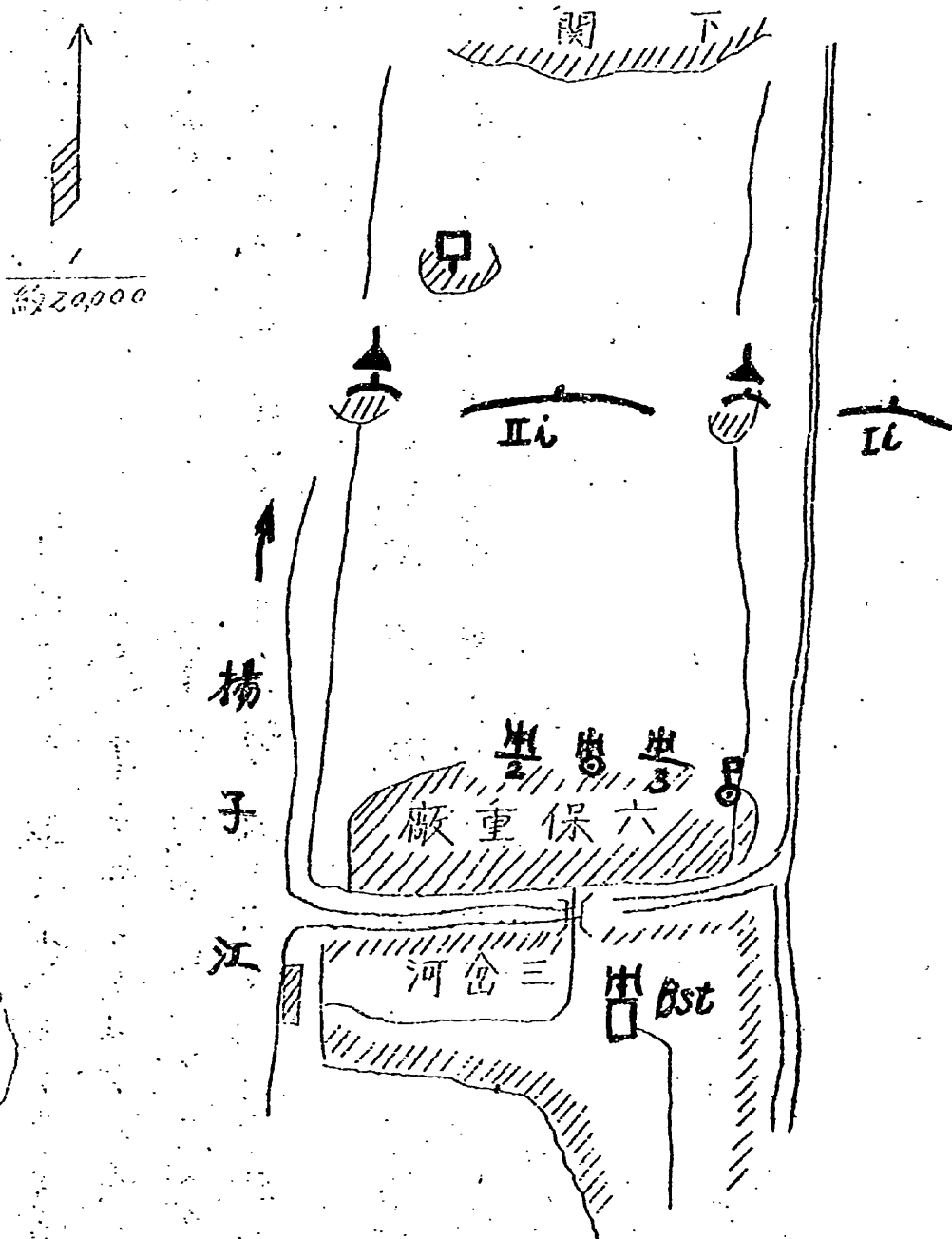
下関ニ進出シ兵力ヲ集結シ茲ニ敗敵討伐ヲ終了ス

A 11 ~ 30 30

0372

0950

三岔河附近戰鬪經過要圖  
(二十日四月天明於此為主之勢)



31

0373

11 ~ 31

十二月九日 聯隊カ戦闘参加以來今日ニ至ル間 死傷者別  
 紙ノ如クニシテ 彈藥一七七八發ヲ使用 砲三門ニハ各數發  
 ノ彈痕アルモ 使用ニ支障ナシ馬ノ損害四割  
 殘彈三〇〇ヲ有シ尙ホ十分ニ戦闘ニ堪ヘ得ルノ餘カヲ有ス  
 戦闘参加人員棉花地附近戦闘迄ハ第一梯團ノミニ  
 テ四〇〇名十二日夕以後第二梯團参加シ九二〇名ナリ  
 聯隊段列カ参加シ得サリシハ最モ遺憾トスル處ナリ